



毛呂山町マスコットキャラクター
もろ丸くん

議会だより

発行／毛呂山町議会
編集／毛呂山町議会だより編集委員会

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS

もろやま

〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地 TEL 049-295-2112 URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp/kakuka/gikai/>



3月の定例会

平成26年度一般会計予算	2～3P
平成26年度特別会計予算	4P
平成25年度補正予算	5P
条例の改正等・請願	6P
意見書・議案の審議結果	7～8P
常任委員会レポート	9P
一般質問	10～15P
人事・議会の動き	16P

川角中学校 吹奏楽部

平成26年5月1日発行

第 84 号

議会だよりは議員の自主編集により発行し、この用紙は再生紙を使用しております。

一般会計予算

91億8,600万円 賛成多数可決

3月議会 定例会

平成26年3月定例議会は、3月3日から3月20日まで、18日間の会期で開催されました。

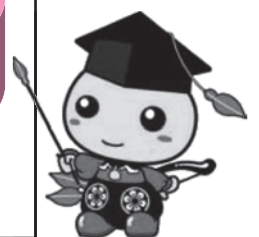
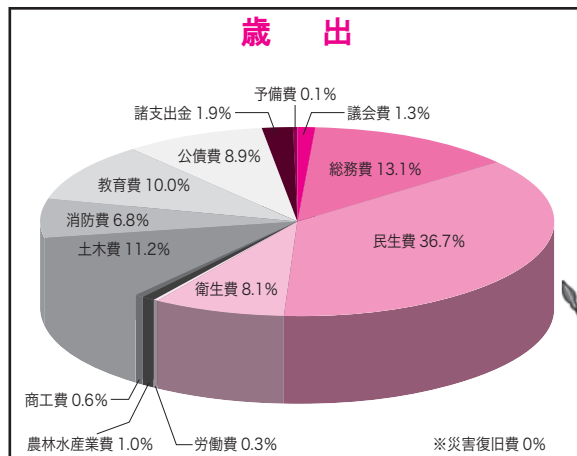
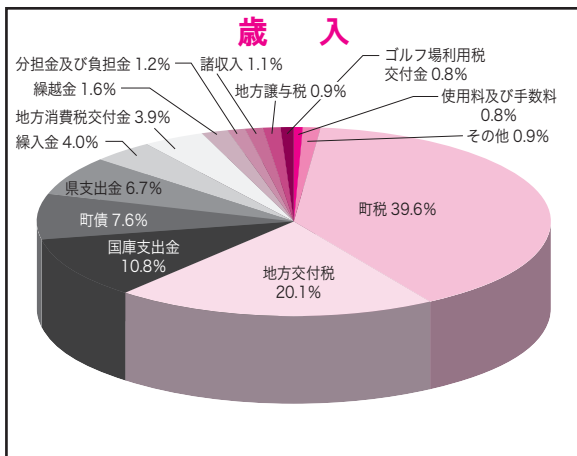
今議会の議案は、条例の一部改正5件、規約の変更1件、補正予算6件、当初予算6件、契約の締結1件、町道の廃止・認定各1件、人事1件、請願1件、議員発議1件、報告1件、合計25件が上程され慎重な審議が行われました。一般質問には11名の議員が登壇し活発な質問が展開されました。

平成26年度一般会計予算総額は、91億8600万円とし、前年度比2億5600万円の増額となりました。増額の主な理由は、平成26年4月1日からの消費税引き上げに伴い、国の施策として低所得者に与える影響や子育て世帯に対する影響等を考慮するため、簡素な給付措置として当初予算に編成された事業があります。

財源においては、町税の伸び悩みや各種交付金の減額がありましたが、地方交付税や国・県の補助金等の活用などにより所要の一般財源は確保されています。しかし、自主財源の乏しい本町においては今後の動態を注視していくことが必要であります。

【平成26年度主要事業】

障害者福祉	介護給付費・訓練等給付費	4億3609万円
高齢者福祉	老人福祉センター管理運営委託料	2500万円
児童福祉	児童手当	5億664万円
都市計画	武州長瀬駅北口周辺地区整備事業	1億2311万円
教育施設整備	泉野小学校消防・放送設備改修事業	2567万円
	毛呂山中学校大規模改造工事設計業務委託料	1601万円



平成26年度

一般会計予算討論

反対します

藤岡 健司 議員

年収200万円以下の人が増え、90年代以降の長期不況と10年以上の所得の減少は、町民の生活に深刻な影響を及ぼしています。町の農業は、まだまだ成長させなければならぬ予算です。農業を成長させるため、農業塾などは解ります。しかし、その方法に懸念があります。また、川角学童保育所の修繕の予算には、疑問があります。また、長瀬駅の橋上駅舎については、町民から苦情が寄せられています。また、北口周辺事業も一概に反対するものではありませんが、その予算を町民のために使えば、より良い予算となるのではないのでしょうか。また、地域見守りについて、高齢化が進んで手遅れになると思わ

れます。早急に地域に知らせて、地域見守りのシステムの構築が必要と思われま

賛成します

小峰 明雄 議員

現在、親の雇用破壊でさまざまな形で子どもが困窮していると思えますが、教育に多忙化やいじめや不登校や教育のかたよりなど、これは、社会的な現象の影響もあり、一朝一夕には解決しません、国の押し進める教育改革には反対であります。



武州長瀬駅舎

町の総合振興計画に掲げられた「緑とふれあいの文化都市」を実現していくためには、若い人達の活力が大切であり、本町の未来を担う子ども達の健全育成のためにも、教育環境の整備と充実が町行政において非常に重要な位置づけになってくると一貫して申し上げて参りました。平成26年度一般会計予算は、厳しい財政状況の中で、91億8600万円の予算となり、その内教育費の内容は、泉野小学校消防・放送設備改修事業や毛呂山中学校大規模改修工事設計業務委託料、図書館トイレ洋式化改修工事等の教育施設の整備・改善に重点が置かれております。そして学力向上支援員や児童生徒支援員、不登校

対策相談員の配置等、引き続き児童生徒の学力向上と安心して学校生活を送れることに配慮した予算であると評価できるものであります。教育環境を整備していくことは、将来の毛呂山町を担う子ども達の成長に寄与するものであり、必ずや町の発展につながっていくものであります。今後、厳しい財政状況が予想されますので、将来の児童生徒数や教育施設の修繕計画等を分析し、計画的な教育施設の整備に努めて頂きたいと思っております。少子化対策として子育て支援の面でも、子ども医療費の継続・妊婦健診委託料の継続等予算計上されております。以上のことから本予算は、限られた財源を費用対効果の観点から効率良く配分し、教育施設や子育て支援の充実を目指した予算であると考えられますので賛成いたします。



平成26年度開通を目指す野久保線

平成26年度

特別会計予算

国民健康保険特別会計

歳入歳出45億1,771万円（1.15%増）

国民健康保険は、被保険者の疾病、負傷、出産等に対し必要な保険給付を行い被保険者の健康を支えています。

◎主な歳入・歳出

○歳入	○歳出
国民健康保険税	保険給付費
8億9,546万円	30億7,392万円
国庫支出金	後期高齢者支援金等
9億7,173万円	5億8,918万円
療養給付費等交付金	前期高齢者納付金等
1億9,844万円	43万円
県支出金	介護納付金
2億3,169万円	2億3,571万円
共同事業交付金	共同事業拠出金
5億6,969万円	5億3,485万円

(賛成多数可決)

介護保険特別会計

歳入歳出21億7,481万円（13.39%増）

介護保険は、要介護認定を受けた方に対して必要な保険給付を行うとともに、介護予防を推進するために運動教室などの地域支援事業を実施しています。

◎主な歳入・歳出

○歳入	○歳出
支払基金交付金	保険給付費
6億608万円	20億7,722万円
保険料	地域支援事業費
4億3,585万円	4,063万円

(賛成多数可決)

水道事業会計

収益的収入及び支出

収益的収入	8億2,521万円
収益的支出	7億5,154万円
損益勘定(純利益)	5,525万円

資本的収入及び支出

資本的収入	1億1,093万円
資本的支出	4億8,792万円
収入額が支出額に対して不足する額3億7,699万円は補填財源をもって補填します。	

(賛成多数可決)

後期高齢者医療特別会計

歳入歳出3億2,470万円（7.40%増）

埼玉県内の全市町村が加入している埼玉県後期高齢者医療広域連合と市町村が連携し事務を行っています。町では、受付窓口業務と後期高齢者医療保険料の徴収業務を担当しています。

◎主な歳入・歳出

○歳入	後期高齢者医療保険料	2億4,441万円
○歳出	後期高齢者医療広域連合納付金	3億756万円

(賛成多数可決)

農業集落排水事業特別会計

歳入歳出2,857万円（2.46%増）

農村地域における生活環境の整備と河川や水路などの水環境の保全を目的とした事業。

◎主な歳入・歳出

○歳入	一般会計繰入金	1,999万円
○歳出	事業費(委託料等)	1,257万円

(全員賛成可決)

平成25年度

補正予算

全員賛成にて
可決

一般会計（第5・6・7号）

予算総額 101億7,212万円

歳入歳出5億2,501万円を追加

◇ 主な内容 ◇

第5号 介護給付費・訓練等給付費	4,153万円
川角中学校大規模改造事業	4億142万円（繰越明許費）
小学校トイレ改修事業	4,000万円（繰越明許費）
中学校空調設備設置事業	1億299万円（繰越明許費）
第6号（雪害対策費）	
旭台保育園テラス屋根等修繕事業	96万円（繰越明許費）
総合公園体育館屋根修繕事業	941万円（繰越明許費）
機械借上料	1,344万円
第7号 毛呂山小学校教室天井安全対策事業	1,290万円（繰越明許費）

繰越明許費とは

歳出予算の経費のうちその性質上または予算成立後の事由に基づき、年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについては、予算の定めるところにより、翌年度に繰り越して使用することができる。

（全員賛成可決）

国民健康保険特別会計（第3号）

予算総額 45億5,911万円

歳入歳出それぞれ3,451万円を減額

◇ 主な内容 ◇

保険給付費の見込み額を算定し療養諸費を増額し、保険給付費支払基金繰入金を減額
国保連合会からの算定資料を基に共同事業拠出金を減額

（全員賛成可決）

介護保険特別会計（第2号）

予算総額 19億2,127万円

歳入歳出それぞれ4,712万円を減額

◇ 主な内容 ◇

保険給付費の支払見込み額を算定し、介護サービス等諸費を減額及び、地域支援事業費等を減額

（全員賛成可決）

後期高齢者医療特別会計（第2号）

予算総額 3億8万円

歳入歳出それぞれ144万円を減額

◇ 主な内容 ◇

埼玉県後期高齢者医療広域連合からの算定資料及び事務費等の見込み額を算定し、総務費及び後期高齢者医療広域連合給付金を減額

（全員賛成可決）

条例の改正・規約の改正など

条例の改正

○毛呂山町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

要旨 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための国による法律の改正及び毛呂山町鳥獣被害対策実施隊の設置に伴うもの
(全員賛成可決)

○職員給与に関する条例の一部を改正する条例

要旨 毛呂山町職員の諸手当について、国及び県の制度に準じて改正するもの
(賛成多数可決)

○毛呂山町社会教育委員設置条例の一部を改正する条例

要旨 法の一部改正に伴い委員の組織を明確化する必要が生じたため
(全員賛成可決)

○毛呂山町ゆずの里オートキャンプ場条例の一部を改正する条例

要旨 消費税の改正に伴うもの
(賛成多数可決)

○毛呂山町営住宅管理条例の一部を改正する条例

要旨 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の一部が改正された事に伴うもの
(全員賛成可決)

規約の変更

○埼玉県市町村総合事務組合の規約の変更

要旨 彩北広域清掃組合が北本市の加盟により名称を「鴻巣行田北本環境資源組合」の名称を改めたことに伴うもの
(全員賛成可決)

契約の締結

○毛呂山町福祉会館耐震補強工事請負契約の締結

【請負金額】
1億8千円
【請負業者】
坂戸市大字横沼株式会社 エム・テック 坂戸事務所
(全員賛成可決)

【請願】

毛呂山町国民健康保険税、大家族の軽減措置を求める請願

【提出者】 毛呂山町前久保南3-38-12

川上美智男 ほか490名

【紹介議員】

岡野 勉

請願の趣旨

毛呂山町は「福祉と医療の町」として発展してきました。文字通り「安心・安全にくらせる町」であり、高度医療を兼ね備えた埼玉医大は町民（国民）の皆保険制度の象徴でもありました。しかし、平成21年度から他自治体に先駆けて導入された国民健康保険税（以下「国保税」）の課税2方式により、大家族、子育て家族には重い税負担が課せられることが判明（子育て支援とは相反する）し、現在その是正が早急に求められています。

私たちは、以下の「請願事項」を強く要望します！

- ① 毛呂山町は大家族の国保税（均等割り額など）の軽減措置を早急に講ずること。
- ② 毛呂山町は町民が安心して国保を利用できるように現状を調査・研究に努めること。

(賛成多数採択)

埼玉県知事に議会より意見書を提出!!

降雪時における道路交通の円滑な確保に関する意見書

平成26年2月14日から15日にかけての観測史上最多といわれる降雪は、県内において道路交通に著しい支障を与えました。

もとより県道は地域の幹線道路であり、住民の生活に必要な物資の流通や緊急車両の通行等に、必要欠くべからざるものであります。また、町道は住民の生活に密着した道路であります。県道と町道は相互に補完しあうことにより、その機能を発揮するものであり、降雪時においてもその機能が円滑に確保される必要があります。

一方、近年の建設業界を取り巻く環境の変化により、地域における除雪に必要な人員や資機材は限られた状況にあります。

以上のことから、県におかれましては、降雪時における道路交通の円滑な確保の必要性について十分に認識され、下記の措置を講じられるよう要請します。

記

- 1 多量の降雪時には、除雪に必要な人員や資機材を有効に活用し、一刻も早く地域の道路交通の円滑な確保が図られるよう、県道・町道等の管理区分にかかわらず、除雪が一元的になされる仕組みを構築すること。
- 2 県道にかかる除雪経費については、県において支弁すること。
- 3 町が行う除雪に関し、必要に応じ技術的・財政的支援を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

平成26年3月20日

埼玉県知事 上田清司 様

毛呂山町議会
議長 下田 一甫

【農道を町道に認定】

- 町道第7240号路線
- 町道第6297号路線
- 町道第2233号路線
- 町道第2232号路線
- 町道第2231号路線
- 町道第2230号路線
- 町道第2229号路線
- 町道第2228号路線
- 町道第2226号路線
- 町道第2225号路線

町道の路線の認定

- 町道第3805号路線
- 町道第1719号路線
- 町道第1715号路線
- 町道第1595号路線
- 町道第1194号路線

町道の路線の廃止

●議案の審議結果(3月定例会)

○は賛成 ×は反対 退は退席 討は討論 欠は欠席 議は議長

議案	議員名(期数順)														審議結果	
	弓田茂樹	佐藤秀樹	荒木かおる	千葉三津子	村田忠次郎	宮寺征二	藤岡健司	岡野勉	小峰明雄	高橋達夫	長瀬衛	岡部和雄	堀江快治	下田一甫		
1	毛呂山町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
2	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	討×	○	○	○	○	○	○	議	可決
3	毛呂山町社会教育委員設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
4	毛呂山町ゆずの里オートキャンプ場条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	討×	討×	○	○	○	○	○	議	可決
5	毛呂山町営住宅管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
6	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
7	平成25年度毛呂山町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	討○	○	○	○	○	議	可決
8	平成25年度毛呂山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
9	平成25年度毛呂山町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
10	平成25年度毛呂山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
11	平成26年度毛呂山町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	討×	欠	討○	○	×	○	○	議	可決
12	平成26年度毛呂山町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	討×	欠	○	○	○	○	○	議	可決
13	平成26年度毛呂山町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	討×	欠	○	○	○	○	○	議	可決
14	平成26年度毛呂山町農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議	可決
15	平成26年度毛呂山町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	討×	欠	○	○	○	○	○	議	可決
16	平成26年度毛呂山町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	討×	欠	○	○	○	○	○	議	可決
17	毛呂山町福祉会館耐震補強工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
18	町道の路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議	可決
19	町道の路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議	可決
20	教育委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議	同意
21	平成25年度毛呂山町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
22	平成25年度毛呂山町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
請願	毛呂山町国民健康保険税、大家族の軽減措置を求める請願	○	○	○	○	×	○	○	欠	○	退	○	○	○	議	採択
発議	降雪時における道路交通の円滑な確保に関する意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議	可決

常任委員会レポート

委員会に付託となった議案審査を行いました

《生活福祉常任委員会》

平成26年度一般会計予算のうち、歳出の部民生費、衛生費、労働費、農林水産業費、商工費、土木費、災害復旧費及び特別会計予算の国民健康保険、水道事業、介護保険、農業集落排水事業、後期高齢者医療、町道路線の廃止・認定、請願の審査を行いました。なお、審査に当たり議案に関する現地調査を実施し、慎重な審査を3日間行い、一般会計予算及び特別会計予算などいずれも可決・採択すべきものと決しました。



町道の廃止・認定 現地視察(西大久保地内)

- 問** 健康づくりということに関して当初予算に組まれているものは。
- 答** 健康づくりに関しては、今年度の予算には予防費として生活習慣病だけです。
- 問** 妊婦健診は人数ではどのくらいの予定か。
- 答** 14回の健診日を設けており、健診については200名を予定している。
- 問** 農業塾の今後は。
- 答** 農業後継者対策協議会に移行する予定。
- 問** 地域密着型サービス運営委員会委員謝金の内容は。
- 答** 委員10名、年2回で40,000円を計上し、町内のグループホームなどの必要性等を検討する委員会。

《総務文教常任委員会》

平成26年度一般会計予算のうち、歳入の部全部、歳出の部の議会費、総務費、消防費、教育費、公債費、諸支出金、予備費について審査を行いました。尚、審査にあたり議案に関する現地調査を実施し、慎重な審査を3日間行い、一般会計予算は、可決すべきものと決しました。



体育施設の現地視察(総合公園体育館)

- 問** 合併60周年記念事業の内容はどのようなものか。
- 答** 実行委員会を4月1日以降に立ち上げ、役場推進委員会で案を作成し実行委員会の方で決定し事業を推進していく。
- 問** 防災行政無線デジタル化実施設計委託料は工事費が莫大なものだが年次計画はあるのか。
- 答** 本町の防災行政無線は聞き取りにくいといわれており、地域によっては情報が閉ざされる可能性もあります。防災無線デジタル化については、振興計画の中にも予定されております。国でも実証実験を行っておりますが、すぐに着手するものでなく、設計が無いと手を挙げられず、国の補助金を活用するためあらかじめ計画しておくもの。

いっぱん質問

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

質問議員と質問事項

- 高橋 達夫議員** ①平成26年度予算
②一部事務組合の負担金
③記録的な大雪被害
- 佐藤 秀樹議員** ①道路整備事業
②川角駅周辺対策
③高齢者支援事業
- 小峰 明雄議員** ①教育・子育て環境の充実
②高齢者の生きがい・健康づくり
- 荒木かおる議員** ①毛呂山町景観樹林
②消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律
③このたびの降雪に対する町の対応と今後の課題
- 宮寺 征二議員** ①町の財政運営
- 長瀬 衛議員** ①町政運営
②自治会
- 千葉三津子議員** ①学校図書館の新聞配備
②食物アレルギー対策
③高齢者の支援対策
- 村田忠次郎議員** ①交通安全施策
②毛呂山版・健康長寿祭
- 岡野 勉議員** ①障がい者医療費、窓口払い廃止
②今回の豪雪・雪害の現状と対策
③町レク、産業まつりバスの運行
- 岡部 和雄議員** ①町長の政治姿勢
- 藤岡 健司議員** ①指定管理者制度と集中改革プラン
②生活交通ネットワーク計画(案)
③町民生活はこれからどうなるか

※内容については、各人の原稿をもとに、質問順で掲載いたしました。質問順は抽選により決定されます。

町における記録的な大雪の被害は

一時孤立した地域が出るなど
様々な大きな被害が発生した

高橋 達夫 議員

問 去る2月14日、15日記録的な大雪による町の被害状況は。

答 人的な被害では4人が雪道で転倒し、救急車で病院に搬送されたり、カーポートや物置、農業用ビニールハウス、鶏舎等が倒壊するなど深刻な被害が発生した。また、山間部において

は大雪で生活道路が不通となり、数件の住宅が一時孤立状態に陥り、職員が手作業で除雪し、飲料水や食料を届けた事例もあった。その他、総合公園体育館や福祉会館、旭台保育園、東公民館などの公共施設の建物の一部損壊など大きな被害がでた。

問 町道の除雪が非常に遅れていたが理由は。

答 県道担当の委託業者が、大雪のため対応出来ず、救急車も通行不能の状況になり、町道担当の委託業者が応援に駆け付けた事や大型の機械が不足していた事などが理由と考えられる。

問 平成26年度予算の着目すべきところは何か。

答 新規事業として、総務費では町内循環バスの運行見直し、民生費では消費税引き上げに伴い、低所得者対策として、臨時福祉給付金事業を子育て世帯には子育て世帯臨時給付事業を、

土木費では川角周辺地区整備構想調査業務委託料、防災行政無線デジタル化実施設計業務委託料を教育費では毛呂山中学校大規模改造工事設計委託料等を予算計上している。

問 町長の公約でまだ達成されていない事業の予算化は、

答 日化団地北側の踏切り拡幅のための物件調査業務委託料等がある。

問 地方交付税には消費税対策が盛り込まれているのか。

答 実質の増加は微妙なものと考えている。



2月14日の大雪で一時孤立状態に陥った地域



段差のない町に!

武州長瀬駅乗降口の 段差改善を!

乗降部分の切下げや
点字ブロックの設置を検討します

佐藤 秀樹 議員

道路整備事業

問 平成23年9月議会の一般質問で「町内におけるバリアフリー対策」をいたしました。その後、その後の対策はどのようなか。
答 限られた財源の中で

緊急性や整備効果等を見極めながら進めているところです。地域的バランスや予算状況を勘案しながらバリアフリー対策に努めて参ります。
問 武州長瀬駅橋上駅舎が完成しましたが、南口の乗降場所も段差があり、使い勝手が悪くな

ったとの声を多く聞きますが、改善等を考えておりますか。
答 武州長瀬駅南口の歩道は、区画整理事業においてマウンントアップ型で施行しておりますので、車の乗降部分の切下げや点字ブロックの設置を検討して参ります。

川角駅周辺対策

問 今年も広報もろやまの一月号に川角駅周辺整備が掲げられておりますが、今年は何具体的にとどこまで進める計画か。また今後の計画はどう考えているのか。
答 今年、関係者にアンケートをお示しし、意見を伺います。

今後は道路の新設や駅施設の改修等が考えられますが、地権者の協力が不可欠ですので、慎重に進めて参りたいと考えてます。
高齢者支援事業
問 以前同僚議員から質問された「人感センサーの導入」について、その後の調査の結果は。
答 一人暮らしの高齢者の安否確認には大変有効なものと考えられます。所沢市、和光市、神川町で、それぞれの付加価値のついた人感センサーを導入しているようです。利用者の方のご意見を伺いながら慎重に検討して参ります。

高齢者の生きがい・健康づくりは

きっかけとなる事業を計画して参りたい

小峰 明雄 議員

問 平成25年度の小・中学校費の予算執行、教育長のご所見は。
答 学力向上小中連携プランに基づき、生きる力を育成する教育を推進して参りました。「環境は人をつくる」川角中学校大規模改修工事や小学校トイレ改修工事などは、児童生徒や保護

者・地域の皆様方等に大好評であり、児童生徒が落ち着いた学校生活が送れるようになった。
問 幼・保・小・中が一体となる教育連携推進行動計画の作成は、私は必要と考えますが。
答 今後検討して参ります。郷土を理解する教育は。

答 郷土を理解し、郷土を愛し、次世代を担う人材を育成する学習は、今後も研究して参りたい。
問 道徳教育、ご見解は。
答 年間35時間以上道徳の時間を設けて取り組んでいる。さらなる推進を図って参ります。
問 小・中学校と図書館の連携。
答 図書館の読書センターとしての役割を活用できるように、取り組みを研究していく所存。
問 放課後子ども教室への取り組みは。学校を地域の方々に支えていただく体制づくりは。
答 現在2教室を月3回程度開設。部活動外部指導者等、地域

で活動している方々に、ご協力をいただいております。
問 平成25年度少子化対策、子育て支援対策の予算執行。
答 一時預かり保育と病後児保育をゆずる里保育園で開始。子ども医療費は対象児童の減少で支給額が減少。
問 高齢者の生きがいづくりと一時予防事業は。
答 平成25年度は新たに、いきいきシニア講座・若返り大作戦や各小学校の児童と世代間交流事業を実施。一般高齢者運動教室を25年度は、町内4箇所を実施。



「いきいきと暮らせるまち・もろやま」の実現を!



除雪が難航した町道。今後の対策を

除雪道路の優先順位

災害対策の要となる 幹線道路を優先

荒木 かおる 議員

問 除雪する道路の優先順位は決まっているのでしょうか。

答 平地部の通常除雪については町道の陸橋や坂道など凍結で危険な箇所から幹線道路の順に実施している。しかし2月14

日から降り出した雪は観測史上記録的と言われたもので、災害対策の要となる町道や幹線道路を優先して行った。県道については県と契約している1社のみが15日未明から作業していたが緊急車両等、通行が困難な箇所があったので必要な場所を町が

依頼した。

問 県道による除雪は1社のみで良いのか。

答 今回の想定外の大雪の経験を活かし町も除雪対策を再検討し、県にも実情を報告し見直しをして頂くよう働きかけて参ります。

問 想定外の降雪の結果、町として見えてきた課題は。

答 今回の大雪で改めて気象情報の収集と住民への伝達、除雪を行う地元建設業協会との連携強化、孤立しやすい山間部の住民や高齢者世帯の見守り制度の確立、四輪駆動車や除雪資機材

の整備、町職員の動員体制の充実などが大きな課題として見えてきたところ。

問 今回は孤立世帯への情報収集や伝達は行えたということですが今後、大災害時の対応として以前も質問をさせて頂いた衛星電話の導入についてはどのようにお考えか。

答 25年度山間部の土砂災害危険区域に於いて現地調査が終了したので26年度当初予算で3台分を計上させて頂いた。今後も財政状況を見まして順次増設して参ります。

自主財源の確保について 町の考えは

積極的に企業誘致活動を展開していく

宮寺 征二 議員

問 平成26年度の地方交付税、臨時財政対策債の見込みは。

答 国の地方財政計画では、地方交付税の総額は1・0%の減、臨時財政対策債は9・9%減のため、地方交付税は18億円、臨時財政対策債は5億3000万円です。

問 今後の地方交付税の予想は。

答 国の財政状況も厳しいため今後は減少傾向に傾いていくと推測している。

問 地方交付税の対象になる国税3税の他に対象となっている税目と負担割合は。

答 所得税と酒税が32%、法人

税が34%、たばこ税が25%、消費税が22・3%となっている。

問 町は今後の自主財源の確保をどのように考えているのか。

答 企業誘致による雇用の創出と法人税等の税収確保に全力を注いでいく。

問 現在の財政調整基金の残高は。

答 平成25年度末残高は約8億8000万円の予定。

問 消費税率引上げによる本町の財政状況への影響は。

答 歳入面では地方消費税交付金が増加する。影響額は約6400万円を見込んでいます。

問 歳出面の影響は。

答 消費税率の引上げ分に対する歳出の増加額は約5500万円。

問 消費税率引上げによる地方交付税の影響は。

答 社会保障の充実分等の地方負担分については、基準財政需要額に100%算入されるが、地方消費税交付金の増収分については当分の間、基準財政収入額に100%算入される予定。

問 住民サービスの向上は。

答 住民に信頼される行政運営を実施していく。



都市計画法第34条第12号に基づく指定区域

埼玉県企業誘致大作戦〔H17年～H25年〕の立地実績

立地企業業種内訳					
製造業	流通加工業	食品製造業	本社・支社	研究所等	合計
365	130	72	32	31	630

今後のチャンスメーカー埼玉戦略Ⅲ〔H25～H28〕

〔ターゲットを絞った誘致活動として挙げている業種〕

- ① 本県の得意分野の食品製造業・流通加工業
- ② 今後の成長分野の医療・健康、次世代自動車など

《埼玉県HP参照》

どこにも見当たらない大型店舗誘致

問 都市計画指定で工業・流通業務施設に限られていた企業誘致用地に大型スーパー受け入れを政策会議で決定したとあるが？この指定地には10年間、固定資産税減免の優遇措置がある。町には大型店舗が多いが、大型

有り得ない、都市計画指定を
変更しての大型店舗誘致！

税の確保と活性化で進める！

長瀬 衛 議員

店舗進出は地元商工会などに大きな影響があり、さまざまなアレキを乗り越え今日を迎えている。過去において優遇策を用意して大型スーパーを招請した事例はあるのか？

これまで9年間で埼玉県の企業誘致大作戦による立地は630件。その中に大型店舗の事例

は無い。地元商店等への影響を考慮すれば行政が積極的に誘致することは有り得ず、狂気の沙汰である。中心部が空洞化される心配もある。仮にスーパー事業者が他の用地を自ら確保し、進出を試みようとしても地元感情を無視はできない。

地権者の声も重要だが、もっと重要なのは商工会や商店街の皆さんである。何より、町のリーダーらしく町全体の将来像を見据えるべきだ。

答 企業誘致を進める上で窓口を広めるために商業施設を決めた。これまで優遇措置はない。

自治会の危機！

問 劇的に高齢化が進み、夏祭りなどを取り止める地区が増えてきた。自治会の危機だ。「遠くの親戚より近くの他人」を実践していかなければならない過渡期を迎えている。無駄な負担を減らし、地区で求められている事業はより充実すべきで、社協加入など集金の簡素化や町職員の協力等自治会をフォローしてほしい。

答 職員サポーター制度や子ども会、寿会への支援について検討したい。

食物アレルギーに対する
今後の町の取り組みは

町の特性を生かし、
医大との連携で
安全対策に努める

千葉 三津子 議員

問 文科省では、特別に対応が必要な児童生徒に対して事前に医師の診断書の提出を義務付ける方針だが、今後の町の周知方法はどのようにするのか。

答 診断書の提出は保護者に負担が生じる為、町としてはアレ

ルギー疾患管理指導願の提出で対応している。正式に決定されたら学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）の提出を進める

問 町内に医科大学等の最先端医療機関があるが、医療機関との連携はどう考えているのか。

答 最新の情報の把握に努める

為、埼玉医科大学との連携による教員を対象とした研修会の実施で、町の特性を生かした安全対策等の充実に努める。

学校図書館の新聞配備

問 平成24年度より学校図書館整備5カ年計画に初めて学校図書館へ新聞の配備に予算がついた事を踏まえ、町ではどの様にお考えか。

答 15年度より埼玉新聞が学校に配備されていた。教材として新聞活用には課題があった。校長会で新聞は必ず図書室に配備するように指示をした。

問 中学校の図書室に英字新聞

の配備は如何か。

答 学力として相応しいものを選び、授業等も含め、実際の活用は、研究する必要がある。

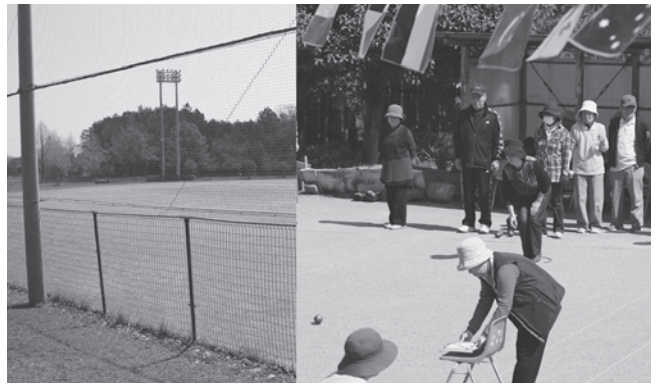
高齢者の支援対策

問 医療・介護・予防・住い・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が必要と思うが町の考えは如何か。

答 団塊の世代が75歳以上になる2025年を見据え3年毎の介護保険事業計画の策定・実施を通じ随時進める。

<p>教育委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 医療関係者・消防との連携 ● 教職員がアレルギー対応を学ぶ機会提供 	<p>学校や調理場</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 医師の診断による管理指導表提出を必須に ● 食物アレルギー対応を踏まえた献立作成 ● 症状の重い子どもの支援重点化 	<p>文部科学省</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 教職員向けの分かりやすい資料 ● 留意事項を示した指針
--	--	--

食物アレルギーの事故防止を



大類グラウンド(写真左)と山根荘グラウンド(写真右)

毛呂山版健康長寿策について

体育施設の利用者増にむけ 活用策を検討中

村田 忠次郎 議員

毛呂山版健康長寿策について

問 県は「健康長寿策」を「運動、食、地域丸ごと」にして展開。毛呂山は何処から進めるか。
答 毛呂山町健康増進計画「健康ともろー21」を策定し「生活習慣病の克服」を最優先課題として

取り組んでいる。
問 高齢者に平日のグラウンドを開放し健康増進が図れば介護医療費の削減に繋がると思うが。
答 総合公園芝生広場と大類グラウンドの自由広場を無料で開放している。また、大類グラウンドの外周の利用を検討中。今後、健康増進に繋げたい。

問 高齢者の減免について、導入の考えはあるか。
答 当面は総合公園と大類グラウンドで導入を検討中。
問 町長のお考えは。
答 近隣市町村に見習いながら、平日の使っていないグラウンドにおいて進めていきたい。
交通安全施策について
問 平成23年度実施の通学路総点検以降、危険箇所改善状況は。
答 改善要望は68カ所、今後38カ所について対策の必要がある。
問 路面表示の摩耗状況は。
答 公安委員会管理の「横断歩道、とまれ、停止線等」は確認

次第、警察署に要請し、町管理の「外側線、センターライン、文字表示等」は点検結果を基に通学路を優先して引き直す。
問 見通しの悪い街路樹対策は。
答 シルバー人材センターに依頼して年一回剪定を実施し、県道関係は飯能県土整備事務所に手入を依頼している。
問 道路交通法が変わり自転車走行に対して規制が厳しいが、影響や事故の実態は。
答 警告カードの交付は2〜3割の増加だが事故の発生はない町では交通安全母の会や山根荘が啓発をしている。

障がい者医療費の「窓口払い」廃止を！

早い時期に、実施に向けて検討したい

岡野 勉 議員

問 重度心身障害者医療費の現状は、窓口立て替え払い（申請代行）になっていると聞くが、どうか。こども医療費と同様に「窓口払い廃止」はとれないか。
答 現在、医療機関窓口に一時自己負担金を払っていただき、後日、本人かそれとも医療機関

が代行し、福祉課窓口へ請求し助成を受ける2方式が取られています。いずれも一時医療費を立て替えています。
「窓口払い廃止」の実施には、医療機関の協力が不可欠であり、医師会、薬剤師会及び歯科医師会などを中心とした医療機関の

働きかけが大変重要です。
問 本町には重度心身障害者医療費の対象者はどの位になるか。また、例えば「あいあい園」作業所での工賃はおおよそ月額平均2900円と聞く。先日もこども医療費の窓口払い廃止がどれだけ「家計に助かっているか」という効果の声を聞いた。
答 現在のところ対象者は身体障害者手帳交付の1級から3級、療育手帳A・A・Bの方、高齢者医療の障害認定を受けた方で合計904名となります。
早期に「窓口払い廃止を」と

いうことですが、こども医療費廃止手続きの道筋もあり、出来るだけ早い時期に実施できるよう検討します。
「福祉と医療の町」としてリーダーシップを示せ！
問 「窓口払い廃止」まであと一歩だ！特に、埼玉西部は遅れている。毛呂山・越生町、坂戸・鶴ヶ島市等各々内部で話題になっているが進展がない。本町がリーダーシップを示せ。
答 近隣の自治体と連携し早い時期に実施できるよう検討します。



早期に「障がい者医療費」窓口払い廃止を!!



市街化に乱立する大型店

大型店の進出 今だに商工会に説明がない

時期尚早の声があるが
町の活性化につながる

岡部 和雄 議員

問 観光人口増と移住人口増の町の取り組みは。
答 観光資源が数多くあるが、滞在時間は短い。PR不足がある。流鏝馬祭りは観光の重要な財産と考えて関係機関と連携を図り活性化していく。

要望 1泊2日の流鏝馬ツアーを提案する。町内の宿泊施設で重殿と本陣を体験できる内容だ。
問 空き家バンクを設置せよ。
答 空き家の有効利用は、適正な管理になる。先進自治体の事例を調査、研究していく。
旧上町保育園の跡地利用は。

問 住宅密集地の地域は、大震災の事例でもあるように避難所的な空地は非常に有効である。
答 役場内の政策会議では売却する事も選択肢の1つと考える。新年度鑑定評価を行う予定です。
問 売却し住宅が建てば町に収入が入る予測と、上町保育園に過去多額を投入した。それを取り戻すという考えは、大きな問題だ。お金では計りしれない有効な地だ。地元住民の声を聞け。
答 多くの住民に寄与できる様に最善の跡地利用を検討する。
問 大型商業施設の進出
いまだに商工団体に説明が

ない大型店の進出だ。市街化に多数ある大型店、コンビニ、ドラッグストアと地元商店は今日まで共存してきた。消防団、地区の役員等の協力してきた地元商店だ。町づくりの視点からこれ以上の商店の衰退は、止めるべきだ。町民の声を聞け。
答 雇用の創出、税収の確保、町の活性化につながると思う。
問 工業流通で指定した区域だ。近隣の自治体は県と協力して、誘致に成功している。努力せよ。
答 指定区域の変更をして（流通系を加える）1年余り。時期尚早の声ある。

交通ネットワークにするために 町民、事業者、町が出来ることを出し合う

公共交通になるよう努力する

藤岡 健司 議員

問 生活交通ネットワーク計画（案）について、目的と必要性の中に、超高齢化社会はますます進むと予想される。地域公共交通は高齢者や障害者における重要な交通手段であるため、更なる利便性や利用率の向上を図ることが課題となっている。ま

たコースによつての乗客数の偏りが見られる。運行委託については、平成24年度からは全額一般財源での運行となつたため、町財政としても非常に厳しい状況となっている。また計画期間は3年間とするとあります。町の全体より良い交通ネットワー

クにするために町民、公共交通事業者、自治体が出来ることを出し合うことが必要と思われるので伺います。
答 計画（案）は、現在運行している町内循環バスの見直しにあたり、平成25年3月に設置された毛呂山町地域公共交通活性化協議会において検討され、住民アンケートなどの結果を基に策定された町内循環バスの計画です。地域公共交通活性化協議会とは国土交通省が定めた要綱に規定された交通事業者、住民団体の代表者、関係機関の職員などで構成された協議会であり、

今年度においては5回の会議を開催して検討を重ねて、今後、この会議で協議された計画をもとに、町内循環バスが、よりよい公共交通となるよう鋭意努力してまいります。
町民生活は
これからどうなるか
問 消費税が値上げされると、介護保険料、国保税、後期高齢者の保険料など値上げとなるのではないか。
答 国保税は消費税増税に伴う引き上げ分を含めて、全体では0.01%の引き上げを予定。



もろバスの運行見直しはどうか

人事

教育委員（再任）

中井 達夫 氏

毛呂山町前久保南

昭和19年8月生

4. その他

○学校給食費の改定

○福祉会館の

耐震補強工事

○高倉クリーンセンター

次期更新施設計画地の

決定

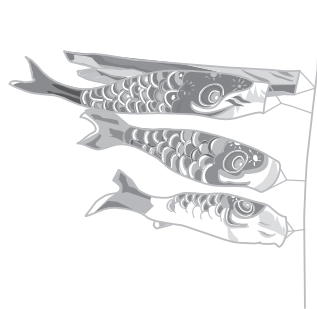
全員協議会

【1月31日の議題】

1. 生活交通ネットワーク計画について
2. 農道住吉線及び農道阿諏訪線の町道移管について
3. 都市計画法第34条第12号に基づく指定区域について

【2月24日の議題】

1. 平成26年度毛呂山町一般会計予算の概要説明



議会の動き

- 1月31日 全員協議会
- 2月 1日 第83号議会だより発行
- 6日 坂戸地区衛生組合議会定例会
- 10日 広域静苑組合議会定例会
- 13日 入間郡町村議会議長会
- 18日 埼玉西部環境保全組合議会定例会
- 19日 西入間広域消防組合議会定例会
- 21日 毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合議会定例会
- 24日 議会運営委員会
全員協議会
- 25日 埼玉県町村議会議長会総会
- 3月 3日
（第1回（3月）定例会）
- 20日 議会運営委員会
- 28日 広域静苑組合議会全員協議会
- 4月 2日 議会だより編集委員会
- 10日 議会だより編集委員会
- 17日 議会だより編集委員会

次回定例会は6月です。

街角インタビュー
【今回の登場人物は】
毛呂山町立図書館で働く
「NPO毛呂BOOK」
館長代理の神野昌子さん



【神野さん】

手に持つのは、布絵本と毛呂山の昔話「切り絵」

「図書館は町民皆さんのもの」
●本との出会い 家に「世界文学全集」がありました。
●本を好きになるコツ 興

3月定例会傍聴者数

本会議日	傍聴者数(人)
3月 3日(月)	14
3月 4日(火)	40
3月 5日(水)	31
3月 6日(木)	0
3月 7日(金)	1
3月20日(木)	0

傍聴席

議会事務局人事

退職 議会事務局長 坂下 均

異動 住民課主幹 塩野 広子

新任 議会事務局長 瀬波 行男

新任 庶務・議事主任 田邊 康子

あとがき

新緑が目にあざやかな季節となりました。春は、気温や気候はもちろんです。進学や就職、引越、転勤など、生活においても「変化の季節」です。新年度になり、新生活がはじまり、「あれを始めよう!」「これもやってみよう!」と、新しいことにチャレンジされる方も多いのではないのでしょうか。周りの環境が変わり、それに馴染もうとするのは、自分で思っている以上に気力や体力を使います。頑張りすぎて疲れてしまったり、深く考えすぎてしまったり、そうになると、心も体もますますストレスを感じます。そんなときは、おいしい食事とたっぷりの睡眠。そして、好きなことをして、心から楽しいと思える時間を持ちましょう。皆さんがステキな春を過ごせますように...

(荒木 かおる)

編集委員

委員長 藤岡 健司
副委員長 岡野 勉
委員 弓田 茂樹
佐藤 秀樹
荒木かおる
千葉三津子
アドバイザー
(議長) 下田 一甫